中央大学理工学研究所国際交流・研究公開セミナー

Mapping preference of the consumers

by **Benoît Rousseau**

President of Davis Sensory Institute, Davis, California, USA

兼　中央大学研究開発機構トランスレーショナル認知脳科学ユニット・客員機構教授

於:11 月 23 日(月)10:50-12:30 2 号館 8 階 2831 号室



ベノワ・ルソー博士は、30 年以上にわたり官能科学および消費者科学の研究と普及に貢献してきました。フランス、パリの AgroParisTech で食品科学および工学の学位を取得した後、カリフォルニア大学デーヴィス校食品科学技術学部のマイケル・オマホニー教授の研究室に加わり、感覚科学の分野で博士号を取得ました。その後、Institute of Sensory Studies に加入し、20 年以上にわたり多様なクライアントの調査・教育プロジェクトを支援しました。特に教育プログラムの実践に力を入れており、100を超えるコースを主宰しました。2024年に故オマホニー教授の跡を引継ぎ、Davis Sensory Institute の代表に就任いたしました。

内容

Davis Sensory Institute の使命は、官能科学に関する、卓越した調査計画、実施、分析を通じて、クライアントに独自の製品および市場インサイトを提供することです。収集データの品質を重視し、迅速かつ正確で洞察に富んだ情報を提供します。Davis Sensory Institute がカバーする専門分野は官能科学の全領域に及びます。特に、サーストンモデルやテトラドテストの開発を含む、識別試験における先駆的研究に強みがあります。また、洗練された記述分析手法、最新の嗜好性試験技術に至るまで様々な官能評価技術に関して、最適なソリューションを提供します。このセミナーでは、Davis Sensory Institute の研究紹介とともに、官能科学における重要テクニックである preference mapping の原理と応用に重点を置いて、解説いたします。

＊本セミナーは、大学院理工学研究科の講義「認知多変量解析」のゲストセミナーも兼ねています。

スケジュール

10:50 サテライトトーク:　檀研における官能科学研究(天野航希)

11:10 ベノワ・ルソー先生によるセミナー

問い合わせ先:中央大学理工学部人間総合理工学科教授

檀一平太 dan.69j@g.chuo-u.ac.jp